



収量を確保するための重要な時期！

浅水管理を徹底して適正茎数を確保！

◎ 生育概況

5月30日現在の生育は、草丈は短く、茎数はやや少なく、葉数は平年並みの状況です。

平坦部「雪若丸」の生育（5月30日）

項目	調査値	平年値	平年比・差	（概況）
草丈	17.0 cm	18.8 cm	90	短い
茎数	106 本/m ²	110 本/m ²	97	やや少ない
葉数	4.4 枚	4.6 枚	-0.2	平年並み

（農業技術環境課調べ）

◎ 技術対策

5月30日発表の2週間予報によると、5月31日、6月1日は最高気温が低く、2日以降は平年並みの気温で推移する見込みです。

「雪若丸」は、指標通りの穂数を確保しないと収量に結びつきません。6月上旬は、初期生育量を確保するための重要な時期です。浅水管理を徹底し、地温・水温を高め、分けつの発生を促して、初期生育量の確保に最大限努めましょう。

◎ 浅水管理とワキ対策で分けつ促進！

活着後は2～3cm程度の浅水で管理し、日中は止水、夜間かんがいで分けつの発生を促します。表層剥離や土壌の異常還元（ワキ）が見られる場合は、速やかに水交換を行いましょう。ワキが強い場合は、田干しや夜間落水を行い、根圏環境の改善を図りましょう。

「雪若丸」時期別生育指標（6月）

地域		6月10日	6月20日	6月30日	穂数
内陸	草丈（cm）	25	32	41	
	茎数（本/m ² ）	240	460	590	560
	葉数（枚）	6.4	8.1	9.3	
	葉色（SPAD）	37	43	43	
庄内	草丈（cm）	26	34	45	
	茎数（本/m ² ）	280	520	670	580
	葉数（枚）	6.8	8.5	9.6	
	葉色（SPAD）	41	44	42	

